

事業名	第32回 信州安曇野わさび祭り				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	19	補助金	5,000	5,000	イベント実施への補助
	合計		5,000	5,000	
上記の補助金等を含めた事業の総額【 7,584 千円】					
実施日	平成27年8月1日、2日		会場	穂高神社及び穂高駅周辺	
実施主体	信州安曇野わさび祭り 実行委員会		課・事務局	観光交流促進課	
趣旨・ 事業概要	<p>安曇野の夏を彩るイベント。納涼祭は穂高地域の踊り連を中心に穂高音頭・HOTAKA サンバを踊り、穂高の夜を盛り上げます。翌日の YOSAKOI 安曇野では、県内外から踊り連が参加し、粋で独創的な YOSAKOI 踊りを披露します。</p> <p>【対象者 踊り参加者・市外からの観光客・市民】 【参加人数 15,000人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 納涼祭は、多くの皆さんの参加により、盛大に行った。YOSAKOI 安曇野は過去最大の47チームが参加し、YOSAKOI 踊りを披露した。10周年記念として緑色の提灯や納涼祭スタッフ T シャツを作成したり、YOSAKOI 県外参加者の宿泊補助を実施したりした。</p> <p>○成果・効果 10周年の冠が付いたことにより、市民の一体感がより一層強まった。また、例年以上にイベントが盛り上がった。</p> <p>○課題・今後の展望など 今後もわさび祭りを通じて、より一層の市民一体感の醸成を図るとともに、YOSAKOI 安曇野による交流人口の拡大を図っていく。</p>				
備考					



納涼祭



YOSAKOI 安曇野

事業名	第30回 安曇野三郷ふるさと夏祭り				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	19	負担金補助金及び交付金	1,500	1,500	ふるさと夏祭り補助金
	合計		1,500	1,500	
上記の補助金等を含めた事業の総額【 5,985 千円】					
実施日	平成27年8月8日		会場	三郷文化公園	
実施主体	ふるさと夏祭り 実行委員会		課・事務局	三郷地域課 安曇野市商工会三郷支所	
趣旨・事業概要	<p>「みんなでふれあう楽しいひととき」をテーマに、地域住民のふれあいとふるさと意識の高揚を図る。</p> <p>【対象者 三郷地域住民他】</p> <p>【参加人数 5,000人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <p>【メインステージ】安曇野市太鼓連盟、御諏訪太鼓、三郷太極拳クラブ、Hula Studio Piki、三郷音頭、三郷中学校 YOSAKOI 舞踏、三郷中学校吹奏楽、ビンゴゲーム</p> <p>【花火大会】スターマイン他20種目</p> <p>【その他】飲食コーナー、ふれあいコーナー、子ども遊具コーナー</p> <p>市民に配布するちらしに「安曇野市制施行十周年記念」のタイトルを入れて周知するとともに、当日は会場内に桃太郎旗を掲げた。</p> <p>○成果・効果</p> <p>例年どおりの盛況ぶりであった。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>三郷地域住民の交流の場として、また30年の歴史がある夏の恒例行事として今後も継続して開催していきたい。</p>				
備考					



三郷音頭



安曇野市太鼓連盟



子ども遊具コーナー

事業名	健康づくり講演会				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	150	150	講演会、施設の展示販売会
	11	需用費	8	4	講演会花代、試食材料費
	合計		158	154	
実施日	平成27年8月9日			会場	堀金総合体育館サブアリーナ
実施主体	安曇野市			課・事務局	健康推進課
趣旨・事業概要	<p>お弁当づくりを通して、子どもの生きる力をはぐくむ。</p> <p>【対象者 学校関係者、PTA、食生活改善推進員、健康づくり推進員、一般住民等】</p> <p>【参加人数 111人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <p>講演会 演題 子どもを台所に立たせよう ～「くらしの時間」を家庭に～</p> <p>講師 子どもが作る“弁当の日”提唱者 竹下 和男 氏</p> <p>体験 お弁当作り321♪～料理カードでお弁当を作ってみよう～</p> <p>○成果・効果</p> <p>講演会後のアンケートから、「子どもの生きる力をはぐくむために、子どもが一人で料理を作れる環境を大人が作っていくことが必要」と認識された方が多くいたことが分かりました。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>安曇野市食育推進計画（第2次）のパブリックコメントでご意見をいただいた弁当の日の取り組みについては、各ステージでの食育推進に基づいて検討して行きます。</p>				
備考					

体験 12:30~13:30

体験コーナー①

カードでお弁当を作ってみよう！



料理カードを使って、お弁当を作ってもらい、料理のバランスを確認しました。「お母さんが作ってくれたお弁当を思い出しながら詰めてみました」という方、日頃の奥様のお弁当と同じように詰め込む方、それぞれ家族への想いが込められたお弁当が出来上がりました。



体験コーナー②

カロリーの多い順にならべてみよう！



200kcal、150kcal、100kcal、50kcalの順にフードモデルを並べてもらいました。カロリーの低そうな食べ物が意外と高いことに驚く反応等がみられました。

講演会 13:30~15:30

講演「子どもを台所に立たせよう」

講師 竹下 和男 氏



参加者 111名 (内 食育推進委員 4名)

子どもによるお弁当作りの提案をしていただきました。上級生が作ったお弁当を下級生が覗き込んで自分も作りたいと思い、自分が上級生になった時に覗かれる側になって得意気にしている、数年にわたる写真が紹介されました。

子どもが一人で料理をすることでコミュニケーション能力が育ち、自分の体を守る食生活ができる力が育ち、生きる力を育むことができる。子どもの未来のために一人で料理が作れる環境を作ってほしいと投げかけていただきました。

事業名	第9回 安曇野花火				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	19	補助金	7,600	7,600	イベントの企画・運営
		合計	7,600	7,600	
上記の補助金等を含めた事業の総額【 29,299 千円】					
実施日	平成 27 年 8 月 14 日		会場	御宝田遊水池周辺	
実施主体	安曇野花火実行委員会		課・事務局	観光交流促進課	
趣旨・事業概要	<p>花火大会の開催により、市民の一体感の醸成と郷土の振興を目的とし、また、市外へ発信することにより県内外から観光客誘致も図る。</p> <p>【対象者 市内外からの来訪者】</p> <p>【参加人数 2万5千人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 「安曇野はひとつ」をスローガンに旧5町村の町花・村花を表現した花火など、約1万3千発の花火の打ち上げを行った。</p> <p>○成果・効果 有料席のチケットが完売。チケット購入者の約4割が県外であり、多くの観光誘客効果があった。</p> <p>○課題・今後の展望など 年々、規模が大きくなっており、警備等安全面の確保などが課題。商工会を中心に運営を行うことが困難となっており、商工会（実行委員会）と市の役割のすみ分けが必要。</p>				
備考					

安曇野の夜空を彩る花火



川面に映る花火



事業名	市の水道水をペットボトルに詰め記念に配布				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	13	委託料	1,600	1,009	ペットボトル水製造、ラベルデザイン作製
	合計		1,600	1,009	
実施日	平成 27 年 8 月 20 日		会場	安曇野市内	
実施主体	安曇野市水道事業		課・事務局	上水道課	
趣旨・事業概要	<p>市の上水道水源のほとんどが地下水となる平成 27 年度、かつての安曇野市創出プロジェクトでの提案も受け、市の 10 周年記念にあわせ水道事業の PR に活用するために、市の水道水をペットボトルに詰めて配布する。</p> <p>【作製本数 500ml 6,000 本】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 配布事業（箱数） 名水サミット（40）、協働のまちづくりフォーラム（1）、 ストライダーエンジョイカップ 2015（16）、山岳フェス（20）、 市民まつり（12）、職員課主催研修（1）、5 市村ホームタウンデー（21）、 銀座 NAGANO（2）、環境フェア（7）、日本アルプスフェス 2015（3）、 信州暮らしのセミナー（2）、入善町視察受け入れ（1）</p> <p>○成果・効果 これまでに 126 箱（3024 本）が、各イベントで参加者に配布された。県内外多くの方に飲んでいただき、「おいしい」「水道水源が良質な地下水で羨ましい」との声をいただいた。安曇野市の水道に興味を持ってもらう良いきっかけとなった。</p> <p>○課題・今後の展望など 出庫依頼が殺到するのを避けるため掲示板等で各課に周知をしなかったのが裏目に出り、出庫数は伸びなかったことが課題である。今後は今年度配布できなかった安曇野市ハーフマラソンでの配布を検討中である</p>				
備考					



(完成品)



(納品)



(市民タイムス記事)

事業区分：冠事業（市民）

団体名 あづみ野ビデオクラブ

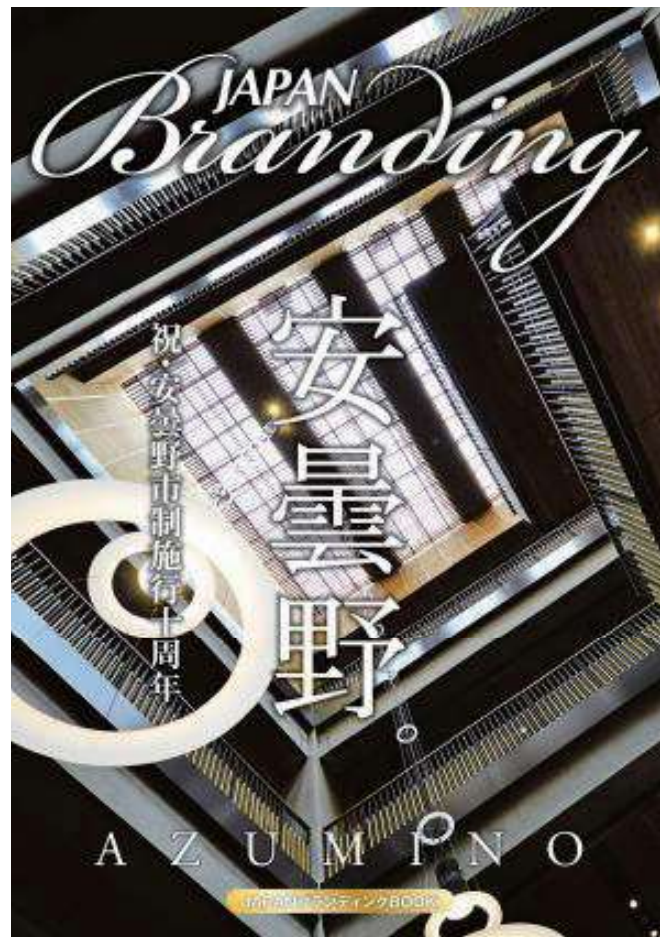
事業名	安曇野市から日本百名山がいくつ見えるか
実施期間	平成27年8月20日～8月23日
開催場所	穂高交流学習センター「みらい」
実施内容	ビデオ上映、パノラマ写真、案内地図等の展示を行い、併せて山岳検索「カシミール」操作や資料提供を行った。
参加者数等	参加者 710人



事業区分：冠事業（市民）

団体名 未来ゆたか株式会社

事業名	JAPAN ブランディング BOOK「祝・安曇野市制施行 10 周年」特集号
実施期間	平成 27 年 8 月 31 日～ 3 月 31 日
開催場所	市内及び東京・大阪・名古屋の大型書店
実施内容	JAPAN ブランドの「魅力」を伝える情報誌「JAPAN ブランディング」の安曇野版を 8 月 31 日に発行いたしました。 市制施行 10 周年を迎えた安曇野市の魅力を県外に発信し、地元安曇野の発展に貢献します。



事業名	堀金地域家庭教育講演会				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	30	0	講師謝礼（支出なし）
	合計		30	0	
実施日	平成 27 年 8 月 22 日		会場	堀金総合体育館	
実施主体	堀金地域家庭教育講演会 実行委員会		課・事務局	堀金地域課（堀金公民館）	
趣旨・ 事業概要	<p>堀金地域の小中学校・保育園、PTA・保護者会、育成会、民生児童委員、男女共同参画会議、公民館によって実行委員会が構成され、「家庭教育」の識者からの講演を開催。（毎年開催）</p> <p>【対象者 堀金地域の親世代を中心とした地域住民】</p> <p>【参加人数 170人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 日本教育心理学会会員 工藤 弘 氏を講師に招き、「輝け！すてきな子！一緒に泣いて、笑って、叱って、ほめて！！～家庭が育てる人間力～」と題した講演をいただいた。</p> <p>○成果・効果 27年度は保育園保護者会が講師の選定・依頼を行った。「自分たちが聞きたい、身近な話」の講演であり、今後の家庭教育に役立てていただけのものであった。</p> <p>○課題・今後の展望など 安曇野市で開催している同種の講演会との調整。</p>				
備考					



講師：日本教育心理学会 工藤 弘 様

事業区分：冠事業（市民）

事業名	第25回 信州安曇野薪能				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	19	負担金補助及び交付金	5,500千円	5,500千円	補助金
	合計		5,500千円	5,500千円	
	上記の補助金等を含めた事業の総額【9,964千円】				
実施日	平成27年8月22日		会場	明科龍門瀧公園特設能舞台	
実施主体	第25回信州安曇野薪能実行委員会		課・事務局	文化課	
趣旨・事業概要	<p>格調高い信州安曇野薪能公演開催を通して、安曇野市名誉市民で観世流能楽師として重要無形文化財保持者の栄誉を受けられた故青木祥二郎先生(安曇野市明科中川手出身)の業績を顕彰し、安曇野市の芸術文化の向上並びに観光振興を図る。</p> <p style="text-align: center;">【対象者 市民一般】 【参加人数 797人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市内の小中学生(9名)による仕舞・連吟の披露 ・火入れ式 ・能公演 <p style="margin-left: 40px;">演目 能 花月 (かげつ)</p> <p style="margin-left: 40px;">狂言 萩大名 (はぎだいみょう)</p> <p style="margin-left: 40px;">能 松風 見留 (まつかぜ みとめ)</p> <p style="margin-left: 40px;">能 石橋 大獅子 (しゃつきょう おおじし)</p> <p style="margin-left: 40px;">出演者 シテ方 青木道喜、片山九郎右衛門、青木真由人 ほか</p> <p style="margin-left: 40px;">ワキ方 宝生欣哉 ほか</p> <p style="margin-left: 40px;">狂言方 野村萬 ほか</p> <p style="text-align: right; margin-right: 40px;">総勢 31名</p> <p>○成果・効果</p> <p>公演当日は天候にも恵まれ、約800人の来場者に幽玄の世界を鑑賞していただくことができた。一流の出演者による舞台は、アンケート結果を見ても大変好評で、県外からも多くご来訪いただいた事が判る。芸術文化振興・観光振興の両方に寄与することができた。</p> <p>また、子どもたちの仕舞・連吟の披露はそれまで稽古を重ねた成果を能舞台の上で発表するという体験となり、伝統的な芸能に触れる貴重な機会となった。来場者からも好評であった。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>開催のための資金の確保が課題。会場として利用してきた明科龍門瀧公園多目的広場が、平成28年度は保育園施設建設のため使えなくなり、豊科公民館ホールを検討しているが、舞台設営についてなど実行委員会で未経験であるため手探り状態となる。開催25回という歴史のあるイベントであり、公益性も高いため事業を継続していけるよう努力したい。</p>				

【当日の記録写真から】



子ども達による仕舞・連吟の披露

火入れ式



会場全体



事業名	名水サミット in 安曇野				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	19	負担金補助 及び交付金	2,500	2,500	イベントの企画・運営、広報など
	合計		2,500	2,500	
	上記の補助金等を含めた事業の総額【 4,889 千円】				
実施日	平成 27 年 8 月 28 日、29 日		会場	サンモリッツ (大・中ホール)	
実施主体	安曇野市 全国水環境保全市町村連絡協議会		課・事務局	環境課	
趣旨・ 事業概要	<p>豊かな自然の源である水の重要性について周知を図るとともに、全国の「名水百選」に選定された市町村間の交流による地域づくりを推進し、水環境の保護の推進と水質保全意識の高揚を図る。</p> <p>【対象者 全国水環境保全市町村連絡協議会会員市町村・市民など、市内外からの来訪者】</p> <p>【参加人数 650人 (県内 511人・県外 139人)】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <p>■平成 27 年 8 月 28 日 (金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国水環境保全市町村連絡協議会幹事会兼実行委員会 ・第 29 回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会 ・名水サミット in 安曇野シンポジウム ・交流会 ・連携イベントの開催 (イベントブースに於いて) <ul style="list-style-type: none"> ・水関連商品展示・販売コーナー ・利き水コーナー ・地元物産展コーナー ・観光案内コーナー <p>■平成 27 年 8 月 29 日 (土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オプションツアー (名水めぐり他) <p>○成果・効果</p> <p>シンポジウムは、目標参加人数を 600 人としたところ県内外から目標人数を超える 650 人が参加し、参加者アンケートによるとアンケートに回答いただいた 74.8%の方が「とてもよかった」又は「よかった」と回答し、84.3%の方が身近な水環境について考えるきっかけ・参考に「とてもなった」又は「なった」と回答するなど、全国水環境保全市町村連絡協議会の目的である水環境保護の推進と水質保全意識の高揚が図られた他、お客様にお出しした松本大学と市内企業が共同開発した地元産のオリジナル弁当が県内外の皆様に変な好評をいただき、オプションツアーには県外の 59 人の方に参加いただくなど、名水百選「安曇野わさび田湧水群」と自然豊かな安曇野市の魅力を発信できた。</p> <p>また、大会会場前では、安曇野市直売所連絡協議会と連携し、地元物産展を開催した他、全国水環境保全市町村連絡協議会関係者だけでも 106 人が市内に宿泊するなど、食事などへの波及効果も含め一定程度の経済効果が発生したと思われる。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>今後の展開としては、名水サミット in 安曇野シンポジウムにて環境省大臣官房審議官に手交した「環境大臣宛て要望書」の対応として、過日、環境省は、要望書に対する対応検討のために名水百選関係市町村を対象にアンケートを実施し、現在はこの結果を受けて、まず要望の多かった「要望 3 地域活性化、観光資源等活用に関する支援」に対する施策として「「名水百選」人気投票 (仮題) (Web サイトによる国民全般を対象とした人気投票) の実施を進めており、旅行業企業や飲料企業等と連携することで、それぞれの Web サイトと投票ページとの連携を図るほか、店舗等での周知も図り、春休みや卒業旅行を控えた若年層らへの発信を強化することで新しい層の関心を呼び込む展開を図っているため、当市は引き続き、環境省との交渉、提案を重ね要望内容の実現による当市の水環境の保護の推進と水質保全意識の高揚のより一層の推進を図っていく。</p>				



名水サミット in 安曇野シンポジウム



交流会



オプションツアー（わさび漬作り体験）

事業名	Organic & Woody こどもフェスタ		
事業概要	安曇野市内の子育て世代を対象に、こども達の健やかな成長を願いイベントを開催。ラジオ放送局の特製を活かし現地から3時間の生放送を実施。こどもが参加できるDJブースも確保し、親子で楽しめる交流の場を各種設置した。		
事業費		金額	主な支出内容
	予算額	500,000円	委託料・会場費
	執行額	678,604円	委託料・会場費
	補助額	500,000円	
実施日	平成27年8月29日	会場	スイス村サンモリッツ
実施主体	こどもフェスタ実行委員会		
実施状況	<p>1 対象者・参加者 安曇野市内の「子育て世代」のファミリー層 名</p> <p>2 具体的な内容・様子 会場はスイス村サンモリッツの中ホール。当日は早朝から雨模様で来場者が少ないかと危ぶまれたが、10時の開場の頃には続々と来場者が訪れた。同時刻からホール前特設スタジオにて生放送を開始。会場内は早い時点で混雑状態となり、食品関係の物販は午前中に売り切れとなった。 「木と自然で子育て支援」という主旨にかなった催事となったことは、実行委員会としても満足であった。協賛社からも、放送と催事の組み合わせが面白いと好評であった。</p> <p>3 成果・効果 実行委員会として、ラジオ広報の他、チラシ10,000枚を配布。確実に認知効果があったと思われる。このような大型施設で催事を実施するのは初めてであったが利便性の良さに感謝したい。</p>		
備考	<p>(感想、今後の展望など) 実行委員会のメンバー総動員の態勢で臨み、運営も円滑だったと思う。 このような会場での開催は、自社だけの力量では厳しいものがあります。安曇野市のご支援をいただき、今後もこの会場で実施できたら幸いです。</p>		



オーガニック系商品の販売

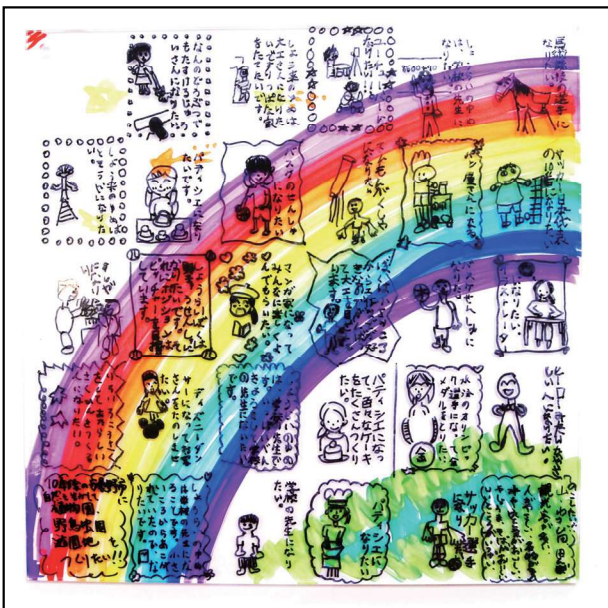


安曇野市キャラクターと子ども達の交歓



特設スタジオでの放送場面

事業名	Azumino.光のページェント 市制施行 10 周年記念イルミネーション		
事業概要	市制施行 10 周年と本事業開催 10 周年を記念し、会場である「安曇野の里」にモミの木を植樹する。モミの木には、子ども達から寄せられた未来へのメッセージを飾り、木と共に発展し繁栄する安曇野市と子ども達の成長を願いイルミネーションで彩る。 また、イルミネーションの装飾には、市民がボランティアとして関わることで、市民間交流の促進を図ると共に冬季市内観光の活性化に寄与する。		
事業費		金額	主な支出内容
	予算額	540,000円	需要費 462,500円（消耗品費） 役務費 1,900円（団体保険料） 経費 75,600円（樹木購入費）
	執行額	540,186円	需要費 462,586円（消耗品費） 役務費 2,000円（団体保険料） 経費 75,600円（樹木購入費）
	補助額	480,000円	
実施日	平成 27 年 8 月 1 日～ 平成 28 年 3 月 31 日	会場	安曇野の里
実施主体	Azumino.光のページェント実行委員会		
実施状況	<p>1 日時 実施期間：平成 27 年 8 月 1 日（土）～平成 28 年 3 月 31 日（木） 点灯期間：平成 27 年 12 月 5 日（土）～平成 28 年 1 月 31 日（日） 点灯時間：午後 5 時～午後 11 時 バレンタイン特別点灯：平成 28 年 2 月 14 日（日）</p> <p>2 対象者・参加者 市民及び市内来訪者</p> <p>3 具体的な内容・様子</p> <p>①記念植樹 会場である「安曇野里」に 3m のモミの木を植樹 植樹会には市内の小学生にも参加をいただき、児童たちによる「土かけ」も行った。</p> <p>②未来へのメッセージ募集 市内の小学生を対象に将来の夢や希望を亚克力板に書き込んでもらった。 参加者は一般応募の小学生に加えて、平成 27 年度「1/2 成人式」を迎えた市内 9 校の 4 年生、総勢 710 名の児童からメッセージを寄せてもらうことができた。 メッセージの書かれた亚克力板は①のモミの木に飾り、木と共に発展し繁栄する安曇野市と子ども達の成長を願いイルミネーションで彩った。</p> <p>③安曇野市に関連した装飾 テーマ「安曇野の四季」 春の桜・夏の花火・秋の稲穂・冬の白鳥をイルミネーションで表現した。また、装飾作業には「特別作業日」を設け、一般市民の積極的な参加を募った。</p> <p>4 成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の児童が記念植樹やメッセージ応募など直接関わることで、地域に根差したイベントへの興味と関心が一層深まり、家族連れのみならず、地域外の来訪者が増え地域の活性化に貢献することができた。 安曇野の四季をテーマとした装飾を施すことで、安曇野市の魅力と豊かな自然環境を PR することができた。 「特別作業日」を設け、市民が装飾作業に関わることで、市民間の交流・世代間の交流が深まり、地域のつながりができた。 		



事業名	あづみのフィルムアーカイブ事業				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	13	委託料	3,780	3,780	「よみがえる安曇野」制作 映像史料（8mmフィルム）のデジタル化
	合計		3,780	3,780	
実施日	平成27年8月～平成28年3月 上映会：平成28年3月26日		会場	穂高交流学习センター「みらい」他	
実施主体	市・あづみのフィルムアーカイブ		課・事務局	文化課	
趣旨・ 事業概要	<p>昭和30～50年代の安曇野の様々な風景、農作業等日常の風景、運動会・お祭り等地域行事、子どもの成長記録等々、家庭等で撮影した8mmフィルムを収集し、貴重な映像史料としてデジタル化を行なう。出来上がったDVD等は、映像提供者の他、映像史料として教育委員会で保管する。また、映像提供者への取材の様子も取り入れながら、新たな安曇野の創造へ繋がるような映像作品を制作する。出来上がった作品は上映会を開催し市民の皆さんに観てもらおう。</p> <p>【映像制作に協力いただいた市民 約180名】 【上映会来場者数 370名】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <p>H27.8月～9月 8mmフィルム募集 提供本数：約276本</p> <p>H27.8.11「あづみのフィルムアーカイブ はじまりの上映会」参加者：20名</p> <p>H27.9月～11月 提供フィルム目録作成 H27.11月～12月 テレシネ作業</p> <p>H27.11月15日「ホームムービーの日 in 安曇野」（中間報告）参加者：60名</p> <p>H28.1月フィルム提供関係者への取材と制作作品BGM収録 協力者：約100名</p> <p>H28.2月～3月 映像作品の編集</p> <p>H28.3月26日「よみがえる安曇野」上映会：来場者数：370名</p> <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散逸(劣化含む)の危機ある貴重な映像史料を保存活用することができた。 ・作品制作には、フィルム提供関係者はもちろん、BGM収録では市内音楽サークル・小・中学校のクラブ等、多くの市民が制作に関わることができた。 ・「よみがえる安曇野」上映会には370名の来場者があり、たいへん好評であった。また併せてBGMで使用した童謡・唱歌を中心とする音楽会も実施した。 <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した276本のフィルムのうちデジタル化は約半数。残りのフィルムの中にも貴重な映像があるため翌年度以降減少しつつデジタル化を進めたい。 ・制作した映像作品(資料)についての今後の活用方法を考えていきたい。(地域の集まり、学校の授業、博物館の展示、福祉教材など) 				

安曇野市 市制施行10周年記念事業

あづみの フィルムアーカイブ

～8ミリフィルムで蘇る安曇野の風景～

8ミリフィルム
大募集!

あづみのフィルムアーカイブは、押し入れに眠っている8ミリフィルムを掘り出し、安曇野の暮らしや文化風習を映像で蘇らせるプロジェクトです。子どもの成長記録や運動会、お祭りや農作業など安曇野で撮影した映像を募集します。お気軽にご応募下さい。

◆応募方法◆
 ①お電話下さい TEL 0263-71-2464
 ②フィルムの受け取り
 ③専門スタッフがテレシネ（フィルムのデジタル化）を行います
 ④作業完了後、お預かりしたフィルムと中身をダビングしたDVDを返却します

◆対象フォーマット◆
 8ミリフィルム（シングル8・レギュラー8）、9.5ミリフィルム / 16ミリフィルム

◆公開について◆
 ご提供いただいた映像の一部は、専用サイトで公開する他、安曇野の記録映像に活用させていただきます。また安曇野市市制施行10周年記念上映会を行う予定です。

◆応募締切◆ 平成27年9月末日まで

主催：安曇野市/あづみのフィルムアーカイブ お問い合わせ：安曇野市教育委員会 生涯課文化課 ☎0263-71-2464



小・中学生・一般の方の協力のもと BGM 収録

フィルムでつづる 懐かしの1ページ



↑ ボンネットバス



↑ ラジオ体操



↑ 校庭スケートリンク



← お宮参り